

## リーダーシップスタイル： 臨床と行政の違い

臨床医と行政医の違いを自信を持って話せる人は少ないです。もちろん教科書、参考書に記載はありません。どちらも10年以上経験してわかった違い、それは、専門性の究め方でした。

### 武智 浩之 Takechi Hiroyuki 群馬県健康福祉部

略歴：平成10年群馬大学医学部を卒業、群馬大学泌尿器科学教室に入り臨床に12年間従事。平成22年群馬県行政に入職、平成27年から保健所長。平成30年に世界保健機関(WHO)本部に派遣、半年間勤務。令和5年、群馬県庁での課長職と保健所長を兼務。

## 公衆衛生と生命倫理： 我々は治療すべきか？

まも  
“社会を衛る”公衆衛生は功利主義的と捉えられるかもしれませんが、社会の健康は代替不可能な個人の幸福の集積と考えると、その根底にあるものは”個々を衛る”臨床医療と同じではないかと考えます。

### 藤井 可 Fujii Taka 熊本市総務局行政管理部労務厚生課

略歴：熊本県立阿蘇高等学校卒業。佐賀大学医学部卒業。熊本大学大学院文学研究科修了。同大学院社会文化科学研究科公共社会政策学専攻社会規範論分野修了。佐賀大学医学部特任講師を経て、平成24年熊本市入職。現在、総務局労務厚生課所属。専門は生命倫理学。

## 当事者から見た精神保健行政： 公衆衛生医師に知ってほしいこと

私が依存症から回復しようとした時、そこに仲間がいてくれた。依存の問題と共存する時、仲間の存在は新たな意味を持ちました。大海原さえ、沢山の浮き輪があれば泳ぎ切れます。

### 渡邊 洋次郎 Watanabe Yojiro リカバリハウスいちご

略歴：中学の頃にシンナー中毒になり卒業後すぐに鑑別所入所。17歳を中等長期少年院で過ごす。20歳から精神病院への入退院が始まり計48回入院。30歳から3年刑務所服役。5年半前からリカバリハウスいちごで働く。通信制高校卒業。5年前、介護福祉士取得。

## コロナ禍で見た在宅医療の課題： 将来の地域医療構想を考える

公衆衛生分野の活動は必要不可欠で回避不可能であると皆が認識しています。後追いではなく、過去から未来を予測し、当然のように時代を先読みし、若手皆で、共に道を切り開いていきましょう。

### 守上 佳樹 Morikami Yoshiki KISA2隊 OYAKATA よしき往診クリニック

略歴：平成10年3月私立六甲学院高等学校卒業。平成14年3月広島大学学校教育学部卒業。平成20年3月金沢医科大学医学部卒業。平成22年4月京都大学医学部老年内科入局。三菱京都病院総合内科勤務。平成29年4月医療法人双樹会よしき往診クリニック開院。

# SPECIALISTS

## 講師紹介

## 公衆衛生 若手医師・医学生 サマーセミナー

都市センターホテル 606会議室

AUG 19-20  
2023